

令和元年度 租税教育活動プレゼンテーション一覧

* 掲載順番は局連順です。

<最優秀賞>

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
熊 本	○都城（宮崎） ○小学5～6年生、 中学1～3年生 ○30名～40名 小学生向けバスツ アー累計200名、 中学生向け租税教 室累計120名	【人を思いやり支え合う心 ～未来のために今、できることから始めよう～】 ・税を「人を思いやり、支え合う心」と表現し、子供たちが税を大切に思い、将来納めることを前向きにとらえ、行動するきっかけをつくることを重視した租税教育活動。 ・小学生向けバスツアーにてオリジナルキャラクター「租税戦士セイバー」と共に公共施設を巡り、職場体験や仮想通貨を用いたまちづくりグループワーク、自由研究作成を通して、税の使途や社会貢献について学ぶ。 ・中学生向け租税教室では、人生ゲームを用いて税や社会保障などについて学ぶと同時に、SDGsにも触れて自分が今貢献できることは何かを考える。

<優 秀 賞>

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
関東 信越	○松本（長野） ○小学6年生 （その他イベント： 小学3～6年生） ○20校1,358名 （その他イベント： 150名）	【租税教育活動の軌跡 ～管内全ての小学校での租税教室開催を目指して～】 ・子供たちに『夢』と『税の使い道』について考えてもらうためのオリジナル教材【夢を叶えよう税！シート】を用いた租税教室の実践。 ・租税教室開催校増加に向けた取り組み（松本税務署との連携強化）と、講師増加に向けた取り組み（部会内研修会、関係団体へサポート）の他、子供職業体験イベントへの参加
福 岡	○東福岡（福岡） ○小学6年生 ○12校38クラス 1,309名	【明日から出来る「新・租税教室」】 ・「マリンとヤマトの不思議な日曜日」の世界を再現し、グループディスカッション用教材を作成。 ・子供たちの自由な発想によって、税の使いみちについて討議することにより、「税金=払うもの」ではなく、自分たちの未来を明るく出来るものだと認識し、納税意識を生み出してもらうことが目的。 ・授業時間を1コマ（45分）に収めるように時間配分を調整することで学校側と連携を図りやすく、継続的な実施につながっている。

<奨励賞>

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
東 京	○東法連第5 ブロック（東京） ○小学生・中学生 並びに保護者 ○32 チーム/117 名	【親子租税教室「都電 de きつずたつくす 2018」 ～知ろう我が町の税の施設～】 <ul style="list-style-type: none"> ・路面電車を利用しながら北区、荒川区の施設・名所を回り、6 か所に設けたチェックポイント毎にご当地クイズ・税金クイズ・税金かるたといったミッションをこなし、地域資産を活用しながら税について楽しく学ぶ。 ・できる人が、できる時に、できることを…からできる人が中心となり周りを巻き込み、皆が経験を積む…そんな思いから始まった共同プロジェクト！
東 京	○千葉西（千葉） ○小学3,4年生 ○4 クラス 150 名	【税レンジャーわくわくワークショップ】 <ul style="list-style-type: none"> ・税と正義を守るヒーローキャラクター「税レンジャー！」と共に子供たちが自発的に税について考えるアクティブラーニング型授業プログラム。 ・「税レンジャームービー」を製作し、視聴後のワークショップでは「千葉市長になって1億円の税の使い道を考えよう」をテーマに未来志向のディスカッション・発表を行う。 ・子供目線の追求にこだわり、ワクワクしながら税金に興味を持ってもらうことに主眼を置いた。
札 幌	○釧路地方 （北海道） ○小学3・4年生 ○400 名	【子ども向け地域職業体験イベントくしろキッズタウン】 <ul style="list-style-type: none"> ・釧路市内の小学生が「くしろキッズタウン」という仮想の街の市民となり、就労体験及び、仮想の労働報酬による消費と納税体験を行う。 ・「税務署」ブースを設け、「納税用まり～も」（キッズタウン通貨）を納めた子供たちには、ブース内で開催する租税教室にて納税の意味や税金の使われ方を学び、楽しみながら自分たちの身近な問題として知ってもらう。
仙 台	○郡山（福島） ○小学6年生 ○15 校 34 クラス 881 名	【こころ動かすこども議会～租税教室改革～】 <ul style="list-style-type: none"> ・「税のしくみや大切さを伝える」「税の使いみちについて子供たちが自分で考える」がコンセプト。 ・より良い小学校生活を送るために税金の使いみちを考えるこども議会を開会。 ・自分の考えを発表し、お互いの意見を聞き、話し合うことでより深く税について理解し、学べる授業内容とした。

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
名古屋	○岡崎（愛知） ○小学6年生 ○52校 135 クラス 3,897名	【「税に関する小学生の作文」の募集と表彰式の開催】 <ul style="list-style-type: none"> ・租税教室授業終了後に部会員自らすべての小学校に赴き『税に関する小学生の作文』の提出を依頼。作文を書くことにより授業の振り返りや家族との会話等、税について考える機会を提供。 ・毎年 3,000 以上の作文が応募され、二次選考を経て選出された作文の表彰式を平成 17 年度より実施。 ・地道な努力の結果、平成 29 年 11 月には民間団体としては初の国税庁長官表彰を受彰
金 沢	○敦賀（福井） ○小学6年生 ○13校 22 クラス 561名	【地域すべての子どもたちに税金教室を！！ ～20年の歴史を重ねて～】 <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀税務署管内でのびのびと生活する全ての子供たちに平等で楽しい「税金教室」をお届けする。 ・「マリンとヤマトの不思議な日曜日」「国税庁の資料」「税金クイズ」を用いて、質問を交えながら税の使われ方や大切さを楽しく伝える。 ・単位会オリジナルの税金教室推進 DVD を作成・活用し、税務署貸与の札束等のアイテムも用いて、子供たちの関心をそそる。
広 島	○西大寺（岡山） ○小学校6年生及び 高校生 ○小学校6年生 3クラス 95名、 高校生 4名	【税の先生は高校生】 <ul style="list-style-type: none"> ・西大寺高等学校商業科の生徒 4 名が小学校 6 年生を対象とした租税教室の講師となる取り組み。 ・高校生は小学生に教えるために税について自習し理解を深めると同時に、実行力・積極性・協調性・プレゼンテーション力・コミュニケーション力等を育み、社会人としての素養を身につける。 ・小学生は高校生から教わることで税の仕組み、税の大切さなどを理解するだけでなく、身近で親しみやすさを持って学習してもらう。
高 松	○安芸（高知） ○小学6年生 ○8校 210名	【道しるべ～子どもたちと未来を繋げる租税教室～】 <ul style="list-style-type: none"> ・モバイル端末を使用したオリジナル税金クイズが中心。 ・「伝える授業」から、生徒、先生、講師が共に学べ、授業を受けた子供たちの記憶に残り、税をもっと身近に感じられるような「伝わる授業」を志向。 ・応用として屋外授業も開催。会員企業の経営する店舗で利用できる景品を準備し、組織の活性化にも貢献。